

### 2月1日(水)より出産・子育て応援事業を開始します



全ての妊婦や子育て家庭が安心できる環境を整備するため、身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実させるとともに、経済的支援を一体的に実施します。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

- 伴走型相談支援 妊婦・産婦の面談を行います。
  - ① 妊娠届出時 ② 妊娠8カ月前後 ③ 出生届出から乳児家庭全戸訪問までの間
- 経済的支援
 

妊娠期から出産・子育ての経済的負担を軽減するため、給付金を支給します。

  - ・ 支給対象 令和4年4月以降に出産、妊娠届出をした人
  - ・ 支給額
    - ① 出産応援給付金：妊婦1人当たり5万円
    - ② 子育て応援給付金：児童1人当たり5万円

問 子育て相談センター(さわやか保健センター3階) ☎561-2339、FAX561-2491

### 市民意識調査(市のまちづくり)にご協力ください



市政運営の参考にするため、無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人に、市の取り組みに対する意識をお聞きします。調査票は、郵送でお送りしますので、届いたらご協力をお願いします。

- ※ インターネットでも回答できます
- 調査時期 2月上旬
- 回答方法 2月20日(月)(消印有効)までに、郵送かインターネットで

問 企画調整課(7階) ☎561-2320、FAX561-2489

### 低所得の子育て世帯に対する 子育て世帯生活支援 特別給付金の申請は 2月末まで(国制度)



対象者で申請がまだの方は、忘れないように申請をしてください。要件がありますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。

対 平成16年(障害がある児童は平成14年)4月2日から令和5年2月28日までに生まれた児童を養育する人

- ① 低所得(児童扶養手当受給者水準の所得)のひとり親世帯
- ② 住民税(均等割)非課税の世帯(ともに新型コロナウイルスの影響で家計が急変して、それぞれの所得水準を下回る見込みの人を含む)

申 2月28日(火)まで(必着)

申・問 子ども家庭・若者課 (さわやか保健センター2階) ☎561-2364、FAX561-6780

### 国民年金の納付は 口座振替がお得です



国民年金保険料を口座振替で前納すると、現金で納付するよりも多く割引されます。4月分から口座振替で前納する人は、2月28日(火)までに、口座振替を希望する金融機関か、草津年金事務所まで手続きしてください。

- 他 口座振替で毎月納付している人が前納に変更する場合も手続きが必要です
- ・ 来年度の保険料、前納・割引額は、2月下旬に決定します

#### ● 前納額と割引額(今年度の場合)

保険料の払い方	前納額	割引額*
2年前納	381,530円	15,790円
1年前納	194,910円	4,170円
6カ月前納	98,410円	1,130円

※毎月納める場合と比較

問 日本年金機構 草津年金事務所 国民年金課(西渋川一) ☎567-2220、FAX562-9638

・ 保険年金課(1階) ☎561-2367、FAX561-2480



## はしかわ市長の だいすき!くさつ



幸ある、春よこい

2月3日(金)は節分です。季節を分ける節の日とされ、立春の前日です。節分は季節の変わり目に起きやすい災いや願いは、いつの時代も変わらないものです。

当市で、疫病退散や五穀豊穡の願いが込められ、受け継がれてきたものに「草津のサンヤレ踊り」があります。昨年11月に、草津市と栗東市に伝わる「近江湖南のサンヤレ踊り」など、全国各地で伝えられてきた「風流踊」が、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。世界的にも重要な遺産として認められ、大変喜ばしく思っています。今後も、古くから大切にされてきた文化を地域とともに守り育て、後世に伝承していけるよう取り組んでまいります。

象に、前年の急激な円安・物価高騰などの厳しい経済情勢があります。円安になると食糧や石油・ガスなどの輸入品が高くなり、私たちの暮らしに大きな影響が及びます。こうした物価高騰の対策として、市では、応援チケット事業や低所得世帯(住民税非課税世帯)への5万円の給付を行った他、昨年12月から今年3月分までの学校給食費の無償化などを実施しています。厳しい寒さが去り、暖かな陽気に包まれる春が来るように、皆様の生活への影響を少しでも和らげられるよう努めてまいります。

「サンヤレ」という囃子詞は「幸あれ」という言葉が転じたものとする説があります。春を迎えるにあたり、「ずっと住み続けたいま草津」への決意をより一層強く、職員とともに知恵を出し合いながら、皆様の「幸ある」暮らしへの思いや願いを引き続き、形にしていきたいと思っています。

## 広がれ! はっぴー・ぼうさい 第23回

問 危機管理課(1階) ☎561-2325、FAX561-6852

### 草津の防災力、どんどん高めていきましょう

関西大学 社会安全学部 近藤ゼミ

えふえむ草津でお届けしている防災番組『Happy BOUSAI』の第134回では、お餅を喉に詰まらせてしまう事故に対して、あらためて注意喚起を行いました。高齢化する社会では、食べ物を飲み込む際に起きる窒息事故が後を絶ちません。東京消防庁のデータによると、お餅などがうまく飲み込めずに救急搬送された事案のうち、実に3分の2を超えるケースが命に係わる重篤な状態(初診時に約6%が死亡)に至っていたことが示されています。決して油断してはいけません。

「以前は大丈夫だったのに」という考えが油断を生みます。お餅を食べるときには、事前に喉を潤すこと、お餅は小さく切ること、背筋を伸ばすなど姿勢を良くして食べることを、ゆっくり噛んで食べることが重要です。さらに、一人で食べるのではなく、誰かと一緒にのときに味わうと良いでしょう。もし喉に詰まったとしても、発見が早ければ助かる確率が高まります。

ところで、昨年4月号に掲載したこのコラムの第13

回では、高齢化社会での別様のリスクをお伝えしていました。それは火災です。本来であれば高齢者は、もともと「火の用心」の気持ちが強く、火の取り扱いには十分に慣れている方が多くおられますので、安全・安心なのです。しかし老化によって、例えば失火した際に、本人が思っているほどには、機敏に火を消し止めることができずに、延焼させてしまうケースがあります。前回のコラムと同じことを繰り返しておきますと、高齢者は責任感も強いので、最後まで火を消し止めようとして、その結果、逃げ遅れてしまうこともあります。ただし、ここでも誰かと一緒にあれば助かる確率は高まります。

少子高齢化が進む日本社会。残念ながら暮らしに潜むリスクは高まる一方です。現実を直視しなければなりません。普段から声を掛け合い、気遣い合える。そんな草津市でありたいものです。

Happy BOUSAI ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 第1・3火曜日12:00~

### 広告を出しませんか?

#### ● 広報くさつ広告

4~7月号の広報くさつ有料広告の募集を行います。今回より、抽選方法を変更しています。下記の期間に申し込みを受け付け、9枠を超えた場合は抽選を行います。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

¥ 1枠 32,000円

※ 1号につき同一事業者1枠まで



他 抽選の場合は3月6日(月)に行います

申 2月13日(月)~20日(月)に、申込書と誓約書を書いて、担当課にファクスかEメールで

#### ● 市ホームページバナー広告

市ホームページの、広告(バナー)を募集しています。

申・問 広報課(3階)

☎561-2327、FAX561-2483

### 屋外スピーカーで 情報伝達試験を行います

非常時に備え、Jアラートを用いて情報伝達試験を行います。

#### Jアラート (全国瞬時警報システム)

地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から人工衛星などを通じて伝えるシステム

① 2月15日(水) 11:00ごろ (予告放送8:45ごろ)

他 ② コミュニティFMラジオ「えふえむ草津(78.5MHz)」でも、試験放送が流れます

- ・ 屋外スピーカーから情報が聞き取れなかったときは、電話自動応答システム(☎0120-119-932)で情報確認ができます

問 危機管理課(1階)

☎561-2325、FAX561-6852